

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 新 絶品飛騨牛料理魅力発信事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 輸出戦略係 電話番号：058-272-1111 (内 2896)

E-mail：c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 15,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	15,000	0	0	0	0	0	0	0	15,000
決定額									

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当予定

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナ禍で和牛価格が低迷する中、本県は流通事業者への緊急支援 (1頭10万円補助) を実施し、他産地に先んじて市場価格の回復が図られた。こうした状況を持続させるため、飛騨牛でなければ同じ味が出せないような、“看板メニュー” を飛騨牛の特徴、部位に合わせて考案PRし、他産地と差別化を図り、飛騨牛の需要拡大を目指す。

また、部位ごとにメニューを提案することで、高級部位以外も含めた1頭フルセットでの輸出につなげる。

なお、輸出事業者からも、海外レストランからの発注は高級部位 (フィレ、サーロイン等) が中心であり、赤身等も含めて輸出できるようになると合理的であるとして、それにつながる施策が求められている。

(2) 事業内容

● 飛騨牛 “看板メニュー” の考案

飛騨牛に精通した県内レストランシェフによる、飛騨牛の特性を最大限活かした、“飛騨牛メニュー” の提案。(5種類程度を想定)

同メニューについては、レシピ・料理動画等を無料で公開する。

● コロナ禍における海外向け情報発信

海外渡航ができないため、国内で輸出につながるような情報発信を行う。

内容：料理考案者による料理解説・実食

会場：都内ホテル

招待客：駐日大使、輸出事業者、県ゆかりの著名人等を想定

(3) 県負担・補助率の考え方

県産農産物の国内需要の拡大、輸出促進は県の重要施策であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託費	15,000	飛騨牛メニューの考案：5,000 千円 コロナ禍での海外向け情報発信：10,000 千円
合計	15,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 「清流の国ぎふ」創生総合戦略（H31.3 策定）
3（1）④ 「ぎふブランド」づくり（情報発信・販路拡大）
- ・ 新たな「ぎふ農業・農村基本計画」（R3.3 策定予定）
（3）ぎふ農林水産物のブランド展開 ①輸出拡大の強化

(2) 国・他県の状況

国においては、農林水産物の輸出を 2020 年までに 1 兆円、2030 年までに 5 兆円を目指し、国別・品目別輸出戦略を策定する等、国全体での輸出促進への取組をさらに加速している。

(3) 後年度の財政負担

新型コロナウイルスに係る緊急措置のため、後年度負担はなし。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・飛騨牛でなければ同じ味が出せない”看板メニュー”を開発PRし、需要の拡大を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値	目標	達成率
飛騨牛の輸出頭数	約 15t (R2.4~ 9)			約 26t (R3.4 ~9)	

○指標を設定することができない場合の理由

--

（前年度の取組）

--

（前年度の成果）

--

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に市場における牛肉の取引価格が低迷しており、価格の回復・維持を図っていく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況及び牛肉を含めた高級食材へ与える影響が不透明。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	